

R.2 川崎小学校重点目標達成に向けた行動計画

【1】 保護者・地域との連携・協働で、特色ある教育活動と安心安全な学校づくりを進めます。

〔地域連携、学校参画、地域関連学習、社会に開かれた教育課程、地域マンパワーの導入、総合的な学習の時間や体験活動を交えた教科学習における指導過程の充実、地域活動室の活用、危機回避能力、SNS やネット社会の負の面 等〕

	行動計画	行動指標・目標値	担当
1	<p>学校運営協議会を中心とした保護者や地域に開かれた学校運営に努めます。</p> <p>①「地域とともにある学校」「学校を核とした地域づくり」</p> <p>②「くろぼくふれあい活動」を中心とした地域活動室（地域共有ゾーン）の活用</p>	<p>①「運動会」「川崎ふれあいフェスタ（児童、保護者の満足度 80%以上）」等の協働開催</p> <p>①開かれた学校づくり 肯定的 評価 90%</p> <p>②川崎小学校共有ゾーン活用推進委員会の開催年5回</p>	<p>校長 教頭 市川ゆ 永合 堀田 水野 中筋 篠谷 久保 松本 福本 森田 安藤</p>
2	<p>目指す学びを共有し、地域の力を借りた地域関連学習と地域参画・地域貢献に努めます。</p> <p>①地域の歴史、文化、人材を活用した学習（地域関連学習、フレンドリークラブ、フレンドリー農園）</p> <p>②児童による伝統文化の継承と地域参加・地域貢献活動</p> <p>③社会に開かれた教育課程の実現と、総合的な学習の時間や体験活動を交えた教科学習における指導過程の充実</p>	<p>①「地域関連学習」年 10回実施</p> <p>①フレンドリークラブ年3回実施（前期0回後期3回）</p> <p>②運動会等でかんこ踊りを披露する</p> <p>②敬老会への参加（4年生1回）</p> <p>③年間指導計画をたてて実施</p>	

3	<p>地域・家庭と連携した危機管理の充実をはかります。</p> <p>①危機回避能力の育成のための、地域と連携した交通安全教室、防災・防犯訓練の実施</p> <p>②家庭と連携したネットモラル学習の実施</p> <p>④全職員で危機管理マニュアル学習会を実施</p>	<p>①「交通安全教室」「防災訓練」「防犯訓練」実施</p> <p>①登校指導年 10 回実施</p> <p>②学年に応じた SNS やネットモラル学習を実施（年 1 回以上）</p> <p>③長期休業中に学習会実施予定</p>	<p>教頭 山本 市川ゆ 佐藤 田中し 安藤 神山</p>
4	<p>学校情報を積極的に発信します。</p> <p>①授業公開日の設定（学年 P T A、P T A 教育懇談、地域指導者の授業参加）</p> <p>②学校行事の公開</p> <p>③学校だより、通信等による情報発信</p> <p>④学校ホームページの定期的な更新</p>	<p>①随時実施公開</p> <p>②随時実施公開</p> <p>③年 1 5 回以上発行</p> <p>④10 日に 1 回更新</p>	<p>校長 教頭 市川ゆ 加藤 赤坂 篠谷</p>

【2】 自分と仲間を大切に作る心と実践力を育む教育を進めます。

〔いじめ未然防止、魅力ある学校づくり、子ども理解、あいさつ、川小道徳スタイル、相手の立場にたって、合唱、食育、眠育 等〕

	行動計画	行動指標・目標値	担当
1	<p>「いじめを生まない」学校づくりに、学校全体が組織的に取り組みます。</p> <p>①「子どもの理解を深める委員会」の定期開催・全校での情報共有</p> <p>②いじめ未然防止のための情報共有、いじめを生まない学校づくり、学級づくりについての研修実施</p> <p>③児童会によるいじめ防止活動</p>	<p>①月 1 回定期開催</p> <p>②いじめアンケート (各学期 1 回、年 3 回)</p> <p>②QU 調査 (年 2 回)</p> <p>②研修会の実施 (年 2 回以上)</p> <p>③児童集会、代表委員会での啓発 3 回</p>	<p>校長 教頭 野田 谷 田川 市川ゆ 堀田 福本 安藤</p>
2	<p>子どもの居場所がある学級づくり、子どもと子どもをつなぐ仲間づくりをすすめます。</p> <p>①「魅力ある学校づくり」に関する研修</p> <p>②学級・学年の自治活動を設定</p> <p>③ペア学年・異学年交流の充実</p> <p>④人権集会などブロック別の活動の充実</p>	<p>①年 3 回以上</p> <p>②年 5 回以上</p> <p>③年 3 回以上 (竹馬集会等で実施)</p> <p>④年 1 回以上</p>	<p>市川ゆ 堀田 田中し 福本 山本 松本 野田</p>
3	<p>子ども・保護者との信頼関係を基盤とした子ども理解・支援の充実をはかります。</p> <p>①子どもの理解を深める委員会の定期開催、全校での情報共有</p> <p>②毎日の健康観察、児童観察ミーティング</p> <p>③診断調査等の活用 (QU 等)</p> <p>④不登校、いじめ未然防止のための情報共有</p>	<p>①定期的に月 1 回</p> <p>②観察報告 (毎日)</p> <p>③年 2 回</p> <p>④職員会議で情報共有</p>	<p>田川 野田 谷 田中ま 中西 安藤</p>

	⑤個別の指導計画および支援計画の作成と手立ての見直し、成果の共有	⑤個別の支援計画年 1 回見直し ⑤個別の指導計画年 2回見直し	
4	<p>自らの生き方に向き合う学習や自治活動・芸術活動等の充実による自己肯定感の向上をはかります。</p> <p>①川小道徳スタイルの確立と相手の立場にたって考える場面を位置づけた道徳教育の実施</p> <p>②児童会を中心とするあいさつ運動実施</p> <p>③みどりいっぱい、花いっぱい運動</p> <p>④全日本合唱コンクール全国大会への取り組みと全校支援</p>	<p>①月目標の取り組み</p> <p>①川小道徳スタイルの実施</p> <p>②あいさつ運動各学期 1 回実施</p> <p>③本花壇づくり年 2 回 (FBC 参加)</p> <p>③校内花鉢設置年 2 回</p> <p>④1 1 / 7 出場予定</p>	<p>市川ゆ 堀田 田中し 福本 森田 中筋 松本 中西 田中ま 加藤 山本 佐熊 永合 篠谷</p>
5	<p>保健指導・健康教育（眠育による望ましい生活習慣、多様な食の学び等）の充実をはかります。</p> <p>①学校保健委員会の開催</p> <p>②薬物乱用防止教室（6年）の実施</p> <p>③睡眠に係る教育</p> <p>④保健指導および健康教育の充実</p> <p>⑤食教育の充実</p>	<p>①年 1 回以上</p> <p>②6 年対象年 1 回実施</p> <p>③健康診断時随時実施</p> <p>④各学年 1 回以上実施</p> <p>④保健だより随時発行</p> <p>⑤各学年の食に関する年間計画の見直し</p>	<p>安藤 篠谷 市川ま 加藤 神山</p>

【3】 学びの基礎を充実し、誰もがわかる主体的で対話的な授業へ改善を進めます。
〔学力保障、体力向上、生活習慣（運動、ゲーム、スマホ…）、家庭学習、読書、
授業改善、市学力向上推進計画、教職員の学び合い、OJT 等〕

	行動計画	行動指標・目標値	担当
1	<p>「川小版 学習規律」を柱とした授業規律の確立を進めます。</p> <p>①「川崎小版 学習規律」に基づく実践の推進 （みる、きく、はなす、かんがえる、おもう、じゅんびする、かたづける）＊「学び」に必要な行動のために</p>	<p>①児童アンケート（肯定的評価80%以上）</p>	<p>飯田 赤坂 永合 松本 市川ゆ</p>
2	<p>基礎学力の定着・体力向上とその基盤となる生活習慣づくりを進めます。</p> <p>①学力保障のための、補充学習「ぐんぐんタイム」、サマースクール等を用いた学年に応じた基礎学力の定着</p> <p>②朝の学習、朝の読書の実施</p> <p>③読書活動の充実と「かめやま読書チャレンジ」</p> <p>④算数における習熟度別学習の効果的実践</p> <p>⑤体力向上のための児童集会等の実施</p> <p>⑥家庭での生活習慣改善（4習慣：あいさつ、睡眠、食、読書） チェックシートの活用と、テレビ、ゲーム、スマホ等の適切な使用と使用時間短縮による生活習慣の確立</p>	<p>①毎月1回を基本とする 補充学習の定期実施</p> <p>①サマースクール5日間</p> <p>①ワークシートや問題データベースの利用月2回以上</p> <p>②毎朝15分実施</p> <p>③読書数年100冊以上</p> <p>④4、5年生算数での理解度肯定的評価85%以上</p> <p>⑤年1回以上</p> <p>⑥チェックシート 年2回実施</p> <p>⑥児童集会等で啓発</p> <p>⑥保健指導</p>	<p>飯田 赤坂 宇野 久保 加藤 松本 大世古 中筋 田中ま 中西 佐熊 福本</p>
3	<p>家庭との連携協働による「自学自習」の習慣化を進めます。</p> <p>①家庭との連携協働による家庭学習時間の増加</p>	<p>①家庭学習の手引きの配布、指導</p> <p>①児童アンケート（肯定的評価50%以上）</p>	<p>飯田 赤坂 久保</p>

	<p>②自主学習の取り組み</p> <p>③自主学習や学びの紹介の場を設定</p> <p>④親子読書の実施（ファミリー読書リレー等）</p>	<p>②自主学習の手引きの配付、指導</p> <p>③自主学習ノートの掲示</p> <p>④ファミリー読書リレー10回以上実施（1年）</p>	
4	<p>「深い学び」を実現する授業改善に取り組みます。</p> <p>①「川小版 学びのスタイル」に基づく確かな「振り返り」と「深い学び」の実践</p>	<p>①1人年1回以上の授業公開</p> <p>①研究授業における全体研修会（年2回以上）</p>	<p>校長 教頭 飯田 赤坂 市川ゆ 福本</p>
5	<p>「書く力」・「読む力」の育成と「ふり返し」活動の充実を図ります。</p> <p>①単元学習中や単元終了時に「ふり返し」を書かせる。</p> <p>②各単元において、複数回、読み取ったことを書く活動を実施する。</p> <p>③指導と評価の一体化をめざす亀山市確認テストの実施と検証</p>	<p>①教職員アンケート（肯定的評価80%以上）</p> <p>②教職員アンケート（肯定的評価80%以上）</p> <p>③評価と指導に関する全体研修会（年3回以上）</p>	<p>校長 教頭 飯田 赤坂 市川ゆ 福本</p>
6	<p>教職員が互いに学び合える研修を推進します。</p> <p>①教職員の学び合いによる研修の推進</p> <p>②教職員の業務遂行力向上を目指したOJTの実施</p> <p>③自主研修への参加と還流報告による共有を推進</p>	<p>①1人年1回以上の授業公開</p> <p>①研究授業における全体研修会（年2回以上）</p> <p>②情報交換会・学年会等の時間確保</p> <p>③随時研修内容還流</p>	<p>赤坂 飯田 宇野</p>

【4】教職員が子どもたちの教育実践に力を発揮できる環境づくりを進めます。

〔職場風土、総勤務時間縮減、業務負担の量的負担軽減、学校ボランティア活用、服務規律 等〕

	行動計画	行動指標・目標値	担当
1	<p>「明るく、仲良く、元気よく」校務に取り組む職場風土をつくれます。</p> <p>①校務の分担、仕事内容の分かち合いを図る</p> <p>*明るく＝可能性（子ども、同僚）を信じ、悲観することなく</p> <p>*仲良く＝孤立を生まず、全員掛かりで</p> <p>*元気よく＝心身健康で、能動的に</p>	<p>①ホワイトボードを活用したアイデアや情報共有（随時）</p> <p>①脱前例踏襲、新規創出の風土づくり</p>	<p>校長 教頭 永合 堀田 飯田 谷 福本 山際</p>
2	<p>月45時間、年間360時間の時間外勤務上限遵守と休暇取得促進に努めます。</p> <p>①時間外勤務上限遵守に係る目標設定と時間外労働時間の客観的把握</p> <p>②休暇取得の促進</p> <p>③定時退校日の設定</p> <p>④会議時間の短縮</p> <p>⑤安全衛生委員会の開催</p>	<p>①1人あたりの月平均時間外労働時間目標25時間以下</p> <p>①月45時間、年360時間を超える時間外労働者数0人</p> <p>②1人あたりの年休取得昨年度比1日増</p> <p>③定時退校日月2回以上（全体で1回以上、ブロック別で1回以上）</p> <p>④各種研修会、部会、学年会は60分以内で終了（目標達成率80%）</p> <p>④職員会議、研修会は90分以内で終了（目標達成率80%）</p> <p>④会議の事項書の前日配付</p> <p>⑤安全衛生委員会の開催年5回</p>	

3	<p>学校ボランティア導入による業務負担軽減に努めます。</p> <p>①学校ボランティアの活用による業務負担の量的負担軽減</p> <p>②学習支援ボランティアの活用による業務負担の量的負担軽減</p>	<p>①学校ボランティア数 100人以上</p> <p>②学習支援ボランティアの増員6人</p>	<p>教頭 赤坂 市川 堀田</p>
4	<p>法令順守の意識の向上、ハラスメントの防止に努めます。</p> <p>①未然防止、服務規律の徹底</p> <p>②職員会議での事例検討と説明</p> <p>③ハラスメント防止研修会を開催し、相談窓口を設置</p>	<p>①日常的な声かけ、学習会</p> <p>②事例検討により意識の向上を図る</p> <p>③ハラスメント研修会の開催（年1回以上）</p> <p>③職場ミーティングでの職員意思疎通</p>	<p>校長 教頭 永合</p>